

子どものマスク 3月にも緩和へ

5類移行時期、あすにも

行を巡っては、厚生労働省の専門家による感染症部会が27日午前に「承するかどうかを審議し、結論を取りまとめる見通し」となっている。政府は同日午後、対策本部に先立ち、新型コロナ対策分科会と基本的対処方針分科会を開催し、検討状況を報告する。

移行に伴う措置の変更は段階的に進める予定。関係者がよりよい自治体や医療機関と調整の上で、変更する公費支援などの内容や時期は、「2月にも換水する」と述べた。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを「5類」へ引き下げるのに先立つ3月にも、小中学校などでも子どものマスク着用を緩和する案が政府内に浮上している」とが分かった。関係者が24日、明らかにした。同日開かれた自民党の会合では、3月の卒業式に間に合うようマスク着用の緩和を求める意見が出たといふ。

5類引き下げる由は、法上の位置付けを、今春にも季節性インフルエンザなどと同じ5類に引き下げる」と表明。23日の施政方針演説では、「医療体制、公費支援などさまざまな政策・措置の対応について、段階的な移行の検討・調整を進めること」と述べていた。

政府が26日にも決定する方向で調整している。岸田文雄首相と閣僚が同日協議するといい、4月下旬から5月上旬が軸となる。27日に政府対策本部を開いて正式決定か。5類移